

2023 年度 事業計画書

自：2023 年 4 月 1 日

至：2024 年 3 月 31 日

公益財団法人新聞通信調査会

▽基本方針

2023年度は、ウクライナ情勢や米中関係などの国際情勢の動向、さらには統一地方選、広島サミットを受けた政局、日銀新体制への政策評価などが焦点となる。またコロナ禍が一定程度落ち着き、経済活動がどの程度回復するかも注目点だ。

発行部数の長期低落が続く新聞業界では、用紙代を中心とした物価高騰が経営をさらに圧迫している。

新聞通信調査会はこうした状況の中で、設立目的である「新聞通信事業の発展に寄与する」プロジェクトを継続するとともに、ジャーナリズム活性化に向けた試みを支援する事業を積極的に推進する。

予算規模は前年並みで事業内容も大きな変更はないが、定例講演会の講師料の一部と「メディア展望」の原稿料の一部を引き上げる一方、報道写真展の写真点数を減らすなど事業内容ごとにメリハリを付けることとした。

以上を基本方針とし、2023年度事業計画を策定した。

【Ⅰ】新聞通信事業に関する調査研究及び資料収集（公益目的事業1）

1. 調査研究

①メディアに関する世論調査

各メディアに対する読者や視聴者の信頼度を調べる「メディアに関する全国世論調査」を本年度も実施する。2008年度から始めた調査で、本年度は16回目となる。全国の18歳以上の5000人を対象に訪問留置法で行い、結果は記者発表するほか『メディア展望』やホームページで紹介する。

②対日メディア世論調査

米国、英国、フランス、中国、韓国、タイの6カ国を対象に2014年度から始めた「対日メディア世論調査」を本年度も実施する。

2. 資料収集

同盟通信社が学校や事業所向けなどに配信した掲示用写真ニュース「同盟通信写真ニュース」など同盟、新聞聯合関係の歴史的資料や内外のメディア関係資料の収集を継続する。

【Ⅱ】新聞通信事業に関する講演会及び研究会の開催（公益目的事業2）

1. 講演会

①月例講演会

原則として毎月、日本記者クラブで開催する。講師は報道機関の記者、デスク、部長、編集委員、論説委員らを予定している。講演内容は『メディア展望』でも紹介する。なお、定期収入のないフリーランスや記者OBについては講師料を引き上げる。コロナ対応については当面参加者を絞るが、情勢をみながらコロナ禍以前に戻すことを検討する。

②特別講演会

参加者を300人規模まで増やした拡大講演会で、コロナ感染防止に留意し、下期に開催する。会場は東銀座の時事通信ホールを予定している。

2. シンポジウム

コロナ感染防止に留意し、下期に会場参加とオンライン参加の併用形式で開催する予定。

【Ⅲ】新聞通信事業に関する研究発表及び普及啓発（公益目的事業3）

1. 研究発表・書籍・冊子などの刊行

①『メディア展望』

本年度も毎月発行を予定。各号40頁から48頁。発行部数は2200部を基本とする。ホームページには最新号とバックナンバーをアップする。諸物価の高騰を踏まえ、ここ10年近く据え置いてきた原稿料の一部を引き上げる。

②出版補助

メディア専攻の学者、ジャーナリストらの論文、評論など研究成果物の出版を補助する事業は本年度で8年目となる。引き続き、価値ある作品の発掘に努め、補助する。

③調査報道ハンドブック刊行

調査報道に関する知見を集積したハンドブックを刊行する。「裁判ハンドブック」「オープンデータ活用ハンドブック」に続く現役記者向けの第3弾。

2. 普及啓発事業

①報道写真展

昨年の「沖縄返還50年 定点観測者としての通信社」（仮称）に引き続き本年度も東京国際フォーラムで開催する。テーマは未定。開催時期は秋の予定。

②アーカイブ

昨年 8 月にデジタル化しホームページで公開した国立国会図書館所蔵の新聞聯合、同盟通信配信写真のキャプション修正作業を継続する。

③通信社ライブラリーの資料充実

引き続き資料、書籍の充実を図る。

④ボーン・上田記念国際記者賞

国際報道を通じて国際理解の促進に顕著な功績のあった記者を表彰する「ボーン・上田記念国際記者賞」を本年度も授与する。

⑤アジア歴史資料センターとのリンク接続

22 年度からスタートした国立公文書館アジア歴史資料センターのホームページと調査会のホームページをリンクさせる作業を継続する。先方の予算措置が 22 年度となり、さらに検索機能を構築するため実際の接続は 23 年度以降になる見込み。

【IV】 その他この法人の目的達成に必要な事業（公益目的事業 4）

▽メディアリテラシー推進校を表彰

時事通信社が主催、文科省が後援している「教育奨励賞」事業に本年度も参画、当財団は、メディアリテラシー教育に力を入れている小中高校に「特別賞」を授与して表彰する。

以上